

1	審議会名	第3回 上田市行財政改革推進委員会 (第3期)
2	日 時	平成23年6月23日 (木) 午後1時30分から午後3時30分まで
3	会 場	丸子地域自治センター3階 第1会議室
4	出席者	増澤会長、宮本副会長、金山委員、小林委員、斉藤委員、佐藤委員、半田委員 堀内美祐子委員、堀内理恵委員、宮沢委員、宮下委員、依田委員 【欠席】石巻委員、櫻井委員
5	市出席者	関行政改革推進室長、西澤係長、市川主査、宮沢主査
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者 〇人	記者 〇人
8	会議概要作成年月日	平成23年6月31日
協 議 事 項 等		
1	開会 (行政改革推進室長)	
2	会長あいさつ (増澤会長)	
3	議事	
	(1) 前回会議録の確認について	
	(2) 第二次上田市行財政改革大綱の骨子について	
	(事務局)・第二次上田市行財政改革大綱の策定について説明	
	(委 員)	資料の中にいくつかの数値、グラフ等があるが、上田市だけの数値ではなく類似団体等の数値があれば比較できるので加えていただきたい。
	(会 長)	まず、目次の項目について、第一次行財政改革大綱 (以下、「第一次大綱」) のように章立てをした方がいいかご意見を伺いたい。
	(委 員)	第一次大綱の場合は章立てで構成されているが、第二次行財政改革大綱 (以下、「第二次大綱」) 案のように、1、2とした構成が分かりやすいと思う。
	(会 長)	第二次大綱案の「これまでの行財政改革の取組」についてご意見は。
	(委 員)	第一次大綱では「行財政改革」の中に、「予算編成の仕組みの改革」という項目が出てくるが、この点については第二次大綱の中ではどのような形で盛り込まれるのか。
	(事務局)	第一次大綱では、第3「重点取組事項及び集中改革プラン」として、83項目が具体的に記載されている。この項目について、第二次大綱のこれまでの取組として具体的に記載していくのか、もう少し大きな枠として記載していくのかご協議いただきたい。
	(委 員)	ひとつひとつ具体的に記載していくとなると煩雑になるが、予算編成の仕組みの改革は重要であると思われるので、表現を工夫し記載するのがいいのではないかと思う。
	(事務局)	表現方法として、第二次大綱の「集中改革プランの推進と成果」の中に、「行政サービスの改革」「財政基盤の改革」「経営体制の改革」と分けてまとめる方法は可能だと思う。 補足として、第一次大綱の財政改革の中で、具体的な取組として「予算編成の仕組みの改革」と「中長期財政見通しの公開と公会計制度の改革」がある。ひとつは、庁内分権型、地域内分権型の予算編成の仕組みをしっかりと作っていこうというもの。もうひとつは、これまで、財政の中長期の見通しを示していなかったもので、改めて大綱に位置づけたもの。 これに従い、現在、第二期の集中改革プランで取り組んでいるところ。
	(委 員)	第一期集中改革プランの成果は報告がされていて、第二期集中改革プランの成果はこれから出てくるということであれば、多少大綱のスタイルを変え、包括する形でもいいのかと思う。

- (委員) 第一次大綱での成果を踏まえた上で第二次大綱を組み立てるのが分かりやすいと思う。
- (委員) 第一次大綱と第二次大綱の組み立てを大幅に変えなくともいいと思う。
- (事務局) 第一次大綱の組み立てを継続させるということであれば、これまでの取組の行政改革、財政改革、その他の改革についての取組について評価し、結果はどうであったか、という記載の仕方であればこれまでのご意見に沿ったものになると思うが、検討させていただきたい。
- (会長) これまでのところ、第一次大綱の成果を記載し、未達成の部分について第二次大綱に引き継いで組み立てていくのか、第二次大綱は、少し大きな枠組みの中で第一次大綱を評価していくのかについて方向性を出したいと思う。
- (委員) 第二次大綱のこれまでの行財政改革の取組の中に成果が出てくるので、改めて第一次大綱の細かな部分について対比をさせなくてもいいと思う。
- (委員) 第二次大綱では、「成果の概要表」という形で大きな枠として成果は出てくる。
- (委員) 成果であるなら、成果が上がったものだけでなく未達成の部分についても記載したほうがいいと思う。
- (事務局) 達成状況は大綱とは別に公表していくが、第二次大綱の中で細かな部分の達成状況まで触れることは難しいかもしれないが、第一次大綱で未達成の部分を第二次大綱に盛り込むとすれば、大綱の前段の成果と分析の中で若干触れる形になる。
- (委員) 第一次大綱の成果が、例えば、別表のような形で出てくるのであれば、大綱の中に入れる必要はないと思う。
- (委員) 第二次大綱とPlan・Do・Check・Action(PDCA)サイクルとの関係はどのようなものか。
- (事務局) 行財政改革大綱はPDCAサイクルを確立させるための手段になるもの。
PDCAサイクルのPは「計画」であり、行政で言うと「予算」となる。Dは、予算を議会で承認いただいた後に「実行」する、工事に例えるなら「発注」に当たる。その後は、効果があったかどうかCheck「評価」するのだが、行政はこの「評価」をきちんとしてこなかった。そこで、その「評価」とその次の「改善」を実施し、確立させていこうと第一次大綱を策定した。さらにそれを確実なものにしていこうと第二次大綱を策定するもの。
- (委員) 第一次大綱の中には重点取組事項が含まれていたが、第二次大綱も同じように組み立てていくのか。
- (事務局) 第一次大綱は、集中改革プランとして大綱の中に含めた組み立てをしてあるが、第二次大綱は切り離して考えていきたい。
- (委員) 第二次大綱骨子の「第一次行財政改革大綱の策定と取組」の中に、「市民協働と地域内分権を核とした「生活者起点」とあるが、地域内分権とは各自治センターの権限を拡大していくということか。
- (事務局) 捉え方が難しいが、予算の編成権と決定権は市長と議会にしかないが、各地域の課題に対して集中的に予算を要求できるシステムを確立させていこうと、一昨年から各地域独自に予算要求ができるよう仕組みを変えてきている。
今後は、地域協議会の役割等も考えながらより一層そのシステムを確立させていきたいということ。
- (委員) 庁内の政策決定機関のひとつである地域経営会議には各センター長は参加しているのか。
- (事務局) 参加している。
- (会長) ここまでの「これまでの行財政改革の取組」についての協議は終わりにしたいが、骨子に示されている「成果の概要表」について、第一次大綱の成果として大きな枠組みとして盛り込んだ方がいいと思うがどうか。

- (委員) 是非出していきたいというならば別紙として示せばよく、これについては第二次大綱に盛り込まなくてもいいと思う。
- (委員) しかし、大綱の導入部分に多少第一次大綱の成果に触れていた方が分かりやすいと思う。
- (委員) 大綱の最初にあるのも違和感があるので、示すとしても参考資料として大綱の終わりの部分にのせたらどうか。
- (事務局) 大綱そのものには資料として付けることは考えていないが、委員の総意であれば資料集という形で整理するか、又は、一部のデータだけ大綱の中で示していくことはできると思う。
- また、第一次大綱の集中改革プランは前期3年と後期2年に分かれているが、後期は23年度までとなっているため、後期集中改革プランの結果を今年度策定する第二次大綱に盛り込むことは時期的にできないことになる。
- (委員) 大綱の前段であまり分量が多いと、分かりやすい大綱の策定ということからもあまりよくないのではないか。
- (会長) 「成果の概要表」については、大綱の中にはあまり必要ないのではないかと、という意見が大勢と思われるので、盛り込まないということではよろしいか。
- 他に、意見がないようなのでそのようにしたい。
- 次に、「上田市の現状と課題」の部分についてご意見を伺いたい。
- (委員) 「東日本大震災の影響」という項目に、「防災対策」、「地域コミュニティ、地域防災組織力の重要性」とあるが、これについて説明をお願いしたい。
- (事務局) 震災の影響というよりも教訓と捉えていただいた方が分かりやすいかもしれない。今回の東日本大震災を教訓に、市としても地域防災体制について課題として捉え、行財政改革の中で検討できるものを検討していきたいということ。
- (委員) そうであるならば、若干表現を修正した方がいいと思う。
- (事務局) 表現方法を検討したい。
- (委員) 第一次大綱には「循環型社会」の記載があるが第二次大綱の骨子には盛り込まれていない。循環型社会といっても間口が広いが、今回の大震災でエネルギー対策ということも再認識されてきているので、行政改革の視点としても「循環型社会」というものは必要と思うが。
- (事務局) 「循環型社会」の必要性は十分認識しているが、それを行財政改革の中でどのように捉えていくのか整理が難しいということもあった。
- 議論の中で必要だということであれば盛り込むことを検討したい。
- (委員) この点については、市の総合計画の中で触れていけばよいことであって、行財政改革大綱の視点として盛り込んでいくのは難しいのでは。
- (会長) 総合計画と行財政改革大綱の関係については、大綱の位置付けの概念図があるが。
- (事務局) 総合計画をどのように効果的に実施していくのか、その手段のひとつが行財政改革大綱になる。
- (委員) 大震災の教訓として「防災対策」等が示されているが、このような細かい点についても触れていくのか。
- (事務局) ここでは、現在の上田市の課題をまず踏まえた上で、行財政改革を進めていくという意味合いである。
- (委員) 防災対策の具体的な点については、地域防災計画の中で検討されていけばいいと思う。大綱が策定されれば、それに基づいて地域防災計画が策定されていくことになると思う。
- (委員) 現在、自治会でも実行性のある地域防災計画の策定が進みつつある。
- (事務局) 行財政改革大綱というものは、これまでの行政の仕組みを変えていこうとする計画である。これまでの防災計画を別の切り口で策定しようとする指針になるものがこの大綱になると思う。

(会 長) 「循環型社会」については事務局で案を検討してもらい、それを基に再度委員会で検討することにしたい。

(3) その他

(会 長) 事務局より、今後設置される部会について案が示されているが、構成メンバーについてはよろしいか。

承認いただいたので、次回委員会で部会長の選出を行いたい。

4 その他

次回委員会 平成23年7月25日(月) 午前10時から

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。